

発行日
令和5年2月22日

Vol.77



発行所
関西配管工事業協同組合
〒531-0072
大阪市北区豊崎3-20-9
三栄ビル6階
TEL(06)6371-5905 FAX(06)6371-9544

編集者
事業部・教育情報部
HP:<https://www.kankan-club.or.jp/>
E-mail:jimu@kankan-club.or.jp



関 西 配 管 工 事 業 協 同 組 合 機 関 誌

もくじ

●「新春を迎えて」庄司真之理事長	2
●新年賀詞交歓会開催	3
●組合員・賛助会員合同懇談会開催	5
●近畿地区で登録配管基幹技能者講習実施	6
●新組合員・新賛助会員	6
●レッキス工業で技術研修実施	7
●1級配管技能士の受検対策講習実施	8
●日管連全国青年部 大阪で合同部会開催	10
●第47回「三団体懇談会」開催	13
●組合役員が各方面から表彰	14
●理事会 議事要旨	15
●大阪で技能士検定実施	16

新春を迎えて

業界のイメージアップをはかり、魅力ある業界へ



関西配管工事業協同組合
理事長 庄司 真之

旧年中は、当組合の諸活動に何かとご指導、ご鞭撻を賜り有り難うございました。本年も変わりませず、宜しくお願ひ申し上げます。

昨2022年も、2020年、2021年同様、新型コロナウイルスの猛威に翻弄された年となりました。2020年1月下旬に中国の春節休暇で多くの中国人が来日したあたりから感染が拡大し、あっという間に日本国中に感染が広がりました。第1波～第8波と次々と感染者数が増えていき、現在はやや収まりつつあるようです。

昨年はこうしたコロナ禍により、日本経済は完全に麻痺をしてしまいました。その結果、経済はリーマンショックをしのぐ戦後最大の落込みとなりました。しかしながら、このところようやく政府も経済優先の方向へ舵をきりました。経済が動かなければ私達の生活は成り立ちません。コロナウイルスと共に存しながら、経済活動を行っていく必要があります。むやみに恐れるのではなく、マスク・手洗い・うがい・換気をこまめに行い、感染防止に気を配り行動いたしましょう。

また今、世界ではウクライナ問題に代表されるように、ロシア・中国等の覇権主義的な考え方により、私達の生活の安全が脅かされています。戦争と言う言葉が絵空事ではないような状況になっております。

その影響もあり、多くの生活必需品の値上がりが続き、私達の日常生活を圧迫しております。平和はそこに存在するものではなく、人間が知恵を出し合い全力で作り上げていくもの、守っていくものです。今こそ、自分自身の生活を守るため、政治を任せにせずに真剣に考える時ではないで

しょうか。早く、以前のような落ち着いた日常が戻って欲しいものです。

さて、当組合は、設立以来「技能の伝承と若手技能工の育成・教育」を主目標に活動を続けて参りましたが、この3年間はコロナの影響で、充分な活動ができませんでした。しかしながら、コロナに負けてはいられません。コロナと共に存しながら、引き続き「若手技能工の育成・教育」を柱に活動を続ける所存ですので、更なるご指導、ご協力をお願いいたします。

以前より言われていることですが、現在の建設業界最大の課題は職人不足です。特に若手の職人が不足しています。若い人が「夢と希望」を持って働く配管業界に変えること、親御さんが自分の子供を働きさせたいと思う業界にすることが、組合の目標であり、私の変わらぬ目標です。

今後、落ち込んだ経済がどれだけ回復するのか非常に気になるところですが、幸い、大阪では「2025年大阪・関西万博」の開催に向けての様々なプロジェクトが動き始めました。今後、仕事量の大幅な増加が期待されます。

このことは我々にとりましては「希望の光」です。コロナやウクライナ問題の影響で、先の読めない、非常に不安定な社会情勢ですが、当組合は組合員一同力を合わせ、関係者各位のお力をお借りし、配管工事業界のイメージアップを計り、若い人や女性の入職者を増やす活動をして参ります。現場で汗する配管工が誇りを持って一生を通して働くことができる、魅力ある業界づくりに邁進いたします。関係者各位の更なるご指導、ご協力をお願い申し上げます。

コロナ禍克服へ力強くスタート

賑やかに新年賀詞交歓会開催



円内は挨拶する庄司理事長

組合の新年賀詞交歓会は1月26日、大阪市北区のホテルモントレ大阪で開催し、元気よく「卯年」を発進しました。

賀詞交歓会はコロナ禍により2回の中止を余儀なくされ3年ぶりの開催となりました。竹中工務店と大林組のゼネコンのほか、関連団体、教育機関、組合顧問からの来賓を交え、83名が出席し、小阪武司副理事長の司会で進められました。



小阪副理事長の司会で進行

年頭挨拶に立った庄司真之理事長は、各種組合活動への協力と交歓会参集へのお礼を述べるとともに、組合設立以来の目標である技

能の伝承と若手技能工の育成に注力していく考えを改めて示しました。この中で庄司理事長は、建設業界の喫緊の課題は技能者不足で、それに対応するには若い人の建設業界入職が欠かせないとし「若い人が『夢と希望』を持って働く配管業界にすることが当組合と私の目標である」と強調しました。

この目標を達成するためには週休2日制をはじめとする職場環境の改善、外国人技能者の入職などに取り組むとともに、適正価格・適正工期での工事へ向け、ダクト・保温保冷の各工事業界と歩調を合わせ、発注者サイドへ粘り強く交渉していく考え方を示し、協力を呼びかけました。

来賓からは大阪空気調和衛生工業協会の城口俊雄副会長が「設備業界が働き方改革を進めるには、生産性の向上と担い手の確保・育成が最重要的課題であり、関西配管組合さんが技能研修などで優秀

な人材を育てていることに敬意を表する」と挨拶しました。

大阪府中小企業団体中央会の総務部総務企画課・堀内雅生課長の発声で乾杯したあと、和やかに歓談。このあと、竹中工務店の役員補佐・小柳真二氏と大林組大阪本店の統括部長・増茂貞氏がスピーチに立ち、働き方改革に取り組む決意を示し、配管工事業界に協力を求めました。

交歓会半ばでは贊助会員が次々と壇上で自社PRを繰り広げ、新製品や新技术などをアピールしました。また、大阪管工機材商業協同組合の岡崎信一理事長ら役員は同組合主催の「管工機材・設備総合展」(9月開催)への出品と来場を呼び掛けました。

最後に、玉川義光副理事長が「当業界は水と空気に深く関連するきわめて大事な業界、胸を張って力強く前進していこう」と述べ、同氏の音頭で威勢よく大阪締めを行いました。



来賓挨拶する（左から）城口氏、小柳氏、増茂氏



新年の門出を祝って乾杯



和やかに歓談して懇親を深めた



賛助会員各社が自社PRを展開



玉川副理事長の音頭で威勢よく大阪締め

組合員・賛助会員合同懇談会開催



昨年12月1日に大阪市北区の三栄ビル会議室で組合員・賛助会員合同懇談会・懇親会を開催しました。

13回目の今回は組合員、賛助会員合わせて45名が出席。

冒頭挨拶で庄司真之理事長は「お陰様で当組合はコロナ禍の中でも順調に活動を行えている。本日は年1回の合同懇談会に多くの皆様に集まっていた。時間の許す限り、意見交換していただきたい」と述べました。

懇談会は小阪武司副理事長の司会進行のもと、出席者の自己紹介のあと、「材料高騰」や「人材不足」などを議題に意見を交わしました。

はじめに組合員企業から「外国人技能実習生受入れについての提案」をテーマに担当者の説明があり、人材不足の打開策に外国人技能実習生の採用が有効との見方が示されました。これに対し、かなりの組合員が外国人実習生の受入れを前向きに検討している状況が



挨拶する庄司理事長

報告されました。

また、「人材育成と定着率」については「新入社員の研修に注力している」「3年前から週休2日制を取り入れている」「勤務時間の見直しをしている」などの取り組みが報告され、各社で様々に工夫している現状がうかがえました。

このほか、組合員、賛助会員双方から現状認識や先行き予想をはじめ幅広い見方や意見が出されるなど白熱した情報・意見交換が繰り広げられました。



近畿地区で登録配管基幹技能者講習実施



令和4年度の登録配管基幹技能者講習の前期講習として近畿地区講習が12月5日～7日の3日間、大阪市中央区のエル・おおさか（大阪府立労働センター）で実施され、中国、九州などからの参加者を含め35名が受講しました。

登録配管基幹技能者は、熟達した作業能力と豊富な知識を有するとともに、現場をまとめ、効率的に作業を進めるためのマネジメント能力に優れた技能者で、いわゆる上級職長として元請の計画・管理業務に参画、補佐することが期待されています。

4年度の講習は前期講習として近畿地区は11月初旬の北海道地区に次いで実施されました。後期講習は関東地区（2023年2月、東京都小平市の全国建設研究センター）と北陸地区（2月、新潟市の朱鷺メッセ）の2カ所です。

近畿地区講習では当組合から庄司真之理事長、玉川義光副理事長、小阪武司副理事長、中野広造

理事が講師として参加し、支援協力しました。当組合講師は「OJTとその進め方」「ケーススタディ」「OJTの実践方法」「OJTの実践演習」について講義しました。



受講者に期待する日管連の庄司副会長
(当組合理事長)



講義する当組合の玉川副理事長

【新・組合員】

蓑茂設備（みのもせつび）

代表者 蓑茂 吉昭氏

〒660-0075

尼崎市大庄中通1-11-10

TEL 06-6419-4148

FAX 06-6419-4148

（令和4年10月1日加入）

【新賛助会員】

シンテック(株)大阪営業所

代表取締役 山口 浩氏

担当者

大阪営業所開発部課長

塙月 亨氏

〒542-0081

大阪市中央区南船場2-10-28

NKビル4階

TEL 06-6120-8030

FAX 06-6120-8031

（令和4年9月1日加入）

レッキス工業で技術研修実施

手動ねじ切りのコツと不良ねじ防止を学ぶ



昨年11月26日に大阪府東大阪市のレッキス工業本社工場で技術研修会を実施し、約40名の受講者は1級配管技能士検定に向けた手動ねじ切りの実習やレッキス工業製品の特徴と正しいねじ加工法などを学びました。

開会挨拶で庄司真之理事長は「レッキス工業様には第1回目から23年間の長きにおいてご協力いただきており、心より感謝申し上げます」と、休日にもかかわらず全面的なバックアップで研修をサポートしていただいている同社幹部・技術スタッフに謝辞を述べました。

さらに、庄司理事長は「本日は令和4年度の配管技能士講習修了

者を中心に参加いただいている。

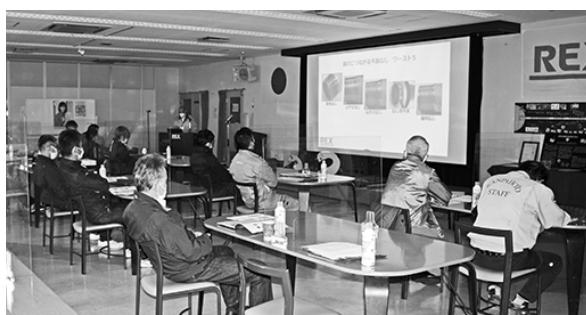
関連3団体（配管・保溫・ダクト）の意見交換会に出席した折、年末から来年にかけて仕事が待ち受けているが、職人不足で頭を抱えているという話を聞いた。そうした状況の中、若い皆さんに資格を取ることは業界で貴重な戦力となる。今日の研修会をぜひ有意義なものにしてもらいたい」と激励しました。

研修は、技能検定に備えて実施する12月の組合主催・受検事前講習（南大阪高等職業技術専門校）の予習を兼ねて手動ねじ切りの実習が行われたほか、レッキス工業による融着工具製品紹介と施工方法、正しいねじ加工法の座学・実

演が行われました。

受講者は2班に分かれ、技能検定に必須のパイプの手動ねじ切りについてレッキス工業の担当者からレクチャーを受けながら実習に臨みました。また、同工場に隣接する「レッキスミュージアム」でパイプマシンをはじめ、各種配管機器の歴史を学びました。

休憩を挟んで同社担当者からバンドソーや建築設備用P E管コントローラなどの説明を受けました。また、「漏れにつながる不良ねじ」をテーマにした座学では資料を参考に注意点や不良ねじを防ぐ方法などを学んだあと、ねじ加工機の実演には受講者も参加体験しました。



不良ねじ防止法を学ぶ



レッキスミュージアムの見学



レッキス製品の知識修得



ねじ加工の参加体験

1級配管技能士検定の受検対策実技講習実施



組合は昨年12月10・11の両日、大阪府和泉市テクノステージの大坂府立南大阪高等職業技術専門校で令和4年度の1級配管技能士検定へ向けた受検対策実技講習を行いました。

実技講習は、検定を想定した本格的な講習で、両日とも午前9時30分から午後4時30分まで昼食をはさんでみっちり行われました。1級配管技能士の受検予定者26名が出席し、実技講習では作業試験本番さながらの講習に取り組みま

した。

初日の午前中は、オリエンテーションに続き、「材料の拾い出し・ペーパーテスト」の講習（座学）が行われ、最後に配管図から材料を拾い出して材料表を作成する練習問題試験が行われました。

午後の実技講習では玉川義光副理事長が受検に向けての心構えや実技の要項を説明し、「1級技能士の資格を取得し、次には上位資格の登録配管基幹技能者を目指してほしい」と激励したあと、熟練

技能者が鋼管の手動ねじ切りと銅管溶接の模範実技で作業の要点などを示しました。

引き続き、実技講習に移り、組合役員や熟練技能者の指導員が受講者の間を細かく巡り指導に当たる中、受講者はねじ切り、接合、接着、配管組立などで作業試験の課題作品づくりに取り組みました。

2日目は、午前中、前日の材料取り練習問題試験で及第点に達しない受講者は補講を受け、との受講者は前日の反省をまじえて実



材料取りのペーパーテストに挑む



受検へ向けての心構えや実技の要項の説明

技講習を受けました。

午後は作業試験本番と同じ時間
(3時間半)で課題作品づくりに

挑戦しました。受講者は模擬検定
作品の製作に懸命に取り組んで完
成させ、指導員から寸法採点、水

圧テストを受けて反省点を洗い出
し、受検本番に備えました。



パイプねじ切りの実技指導



銅管溶接の実技指導



指導員のアドバイスを受けながら懸命に取り組む



大阪で合同部会開催 課題克服へ取り組み模索

日本配管工事業団体連合会傘下の各地区団体青年部で組織する日管連全国青年部（会長薮下保之氏＝中国団体）は昨年10月21日、大阪市で第11回合同部会を開催し、活発に情報交流して業界が直面する課題克服の方策を探りました。

改革②現場の困りごと③求人・人材育成④組合の意義）について、各グループに分かれてチームリーダーが中心となってそれぞれのテーマについてK P T法を用いて協議しました。

意見交換後のグループ発表では



た。

今回は関西団体の青年部（部会長斎藤竜久氏）が担当幹事となつて約1年をかけて企画を練り開催したもので、コロナ禍の影響で中止していたため3年ぶりとなりました。北海道、東北、関東、中部、中国、九州、関西の7団体青年部会からオブザーバーなどを含め87名が参加しました。

当日正午過ぎに大阪・阿倍野に集合した一行は、久しぶりの再会を喜び合い、日本一の超高層ビル・あべのハルカスの会議室で会合に臨みました。本題のグループ討論では四つのテーマ（①働き方

「働き方改革」に関して「週休2日制の導入」「日給・月給の場合の企業や個人の負担増」「平等に取れない有給休暇」「元請との協力関係構築」などの課題について討論したことが報告されました。

また、「現場の困りごと」については「図面の精度が悪い」「運搬のコストがかかる」「職人・職長クラスが使えるC A Dはあるのか」「商社に（材料を）ストックしてもらうのも方法」「工期が短い中でユニット工法とプレハブ工法の積極導入」などの推奨案も示されました。



開催担当団体として挨拶する
関西青年部会の斎藤部会長



挨拶する日管連青年部会の薮下部会長

「求人・人材育成」については「採用の門戸を広げる」「同年代を採用する」「S N Sやホームページを活用する」などの取り組みが紹介されましたが、一方で「採用してもすぐに辞めてしまう」「思っていた仕事と違うという声を聞く」「休みが少なく、報酬が見合わないという声も」など厳しい現状が報告され、最優先の課題として引き続き取り組んでいくことを確認しました。

「組合（団体）の意義」については「業者間で温度差がある」「意見がまとまらない」などの声が一部で出されましたが、「全国



全国から87名が参集

「様々な立場からの情報交換ができる」など意義を強調する声も多く、「業者ごとに細分化して情報を共有したらどうか」という意見も出了しました。

グループ討論会を終えて関西団体の齊藤部会長は「四つのテーマを共通の課題として皆さんと活発に意見を交わせたことに大きな意義があり、様々出された意見をそ

れぞれの参考にしてほしい」と感想を述べ、今後、業界が抱える課題を念頭に置き、親会、青年部が連携・協力しながら各団体の組織基盤の拡充を図り、組合・業界の発展に力を結集していくことを申し合わせました。

このあと一行は、あべのハルカス建設に携わった竹中工務店の工事施工ビデオを視聴し、3班に分

かれて説明担当者とともにあべのハルカスバックヤードを見学しました。あべのハルカスは地上約300メートル、日本一の高さを誇る超高層複合ビルとして大阪の名所の一つとなっています。一行は説明スタッフの案内のとも、最新技術を取り入れたバイオガス発電や環境改善設備、制振装置などをつぶさに視察しました。中でも、ガラス張りの外観デザインからは想像できない、緻密で最高水準の耐震構造を目の当たりにして感嘆の声を漏らす参加者もいました。

見学会終了後、場所を近くのマリオット都ホテルに移して懇親会を催しました。関西団体の齊藤部会長の挨拶に続き、日管連青年部の薮下保之会長が「昨年、全国部会長に就任して今回、皆様の前でようやく挨拶でき、顔を合わせて行う会議の意義の重要性を感じた。暗い話題が多い中、変えること、変えないといけないこと、変



わってはいけないことを皆様とともにアイデアを出し合い、よりよい活動を目指していきたい。今回の貴重な経験を各社に持ち帰って仕事に活かしていこう。」と述べました。

来賓からは関西団体理事長の庄司真之氏が「コロナの影響で各地区でも充分な組合活動ができない中、全国の青年部会の皆さんがあ

阪の地に来ていただき、感謝している。関西の皆さんも斎藤部会長が中心となって準備をしてきて感慨もひとしおと思う」と挨拶。さらに、庄司理事長は「私は長いあいだ組合加入のメリットをうまく説明できなかった。先日、ある方から組合員同士、互いに刺激し合い切磋琢磨してお互いが今よりもよりよい会社になろうというのも

意義深いことだと聞いた。組合の活動目的を問われたときに参考にしてほしい。不況の今、日管連の組合員全員で意見を交換し情報を共有して乗り切っていこう」と激励しました。

関西団体の副理事長・玉川義光氏の発声で乾杯し懇親に入り、途中、各地区的近況が順次報告され、新たな議案提起などを行しながら和やかに懇談しました。



アベノハルカスの設備をつぶさに見学



賑やかに懇親会を催す



第47回「三団体懇談会」

業況、資材高騰で意見交換

当組合と近畿ダクト工事業協同組合（ダクト工事団体）、近畿保温保冷工業協会（保温保冷工事団体）で構成する「三団体懇談会」は昨年11月25日、大阪市北区鶴野町のグラン・アーモTAMAHI MEで第47回会合を開き、各業界の近況報告や建設業界の課題である人材不足、さらに資材の値上げについて意見交換を行いながら今後の方向性を模索しました。

ている。その後、春以降から忙しくなるのでは」という見方が示され、また、「大阪関西万博に向けてインバウンドが戻ってくるのではないか。それに関して関西経済も持ち直すのでは」などの声がありました。

保温保冷工業団体からは「現在の業況は谷間に差し掛かり落ち着いている。忙しいという声も耳にするが実感はない。業種的に工事



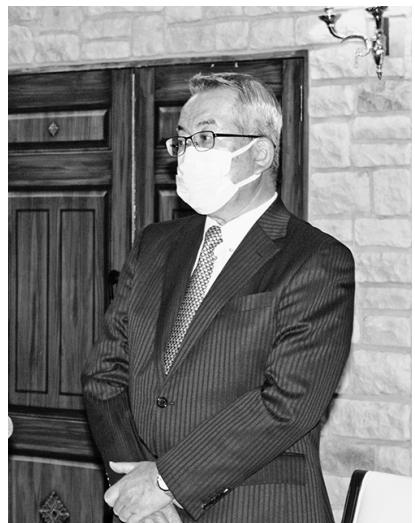
会合には13名が出席、今回は当組合が当番幹事団体となり、庄司真之理事長の司会進行のもと、議論が進められました。

初めに庄司理事長が10月に日管連がJAC（一般社団法人建設技能人材機構）に加盟したことを報告し、会員へのアドバイスをいたいたダクト工事団体に謝辞を述べました。

議題では、初めに各団体の近況報告があり、ダクト工事団体からは「人は出払っている状況だが、年明け早々は落ち着いてくるとみ

が配管のあとになるので見通しがしにくい」との報告がありました。また、ダクト、保温保冷両団体から「九州、博多地区は半導体関連で忙しく、関西にも応援の依頼があり、職人不足で頭を抱えている」との実情が報告されました。

当組合からは「関西は多忙になっている」「全国に職人が取られている。そのため、人手不足が加速している」「資材高騰で材料不足も出ている」「物価、資材、燃料が高騰し、職人も経営者も苦



挨拶する当組合の庄司理事長

しい」との現状認識が示されました。これに対して庄司理事長は「皆さんの意見を聞いて忙しいのは確かのようだが、そこまでの手応えは感じられない。ただ、職人不足の今、作業員、技能工が補充できないので工事の進展が気にかかる」と述べました。

質疑応答では、技能者を育成する方法について「採用の門戸を広げる」「ホームページやSNSを大いに活用する」「身边に将来のモデル像を見せる」「若者に寄り添うことが何より大事」などの意見が出されました。

一方、庄司理事長から「関西のあるゼネコンからコロナ前とコロナ後の原価を教えてほしいという話があった。ゼネコンもそういう情報をほしがっている。サブコンから異常に高い見積もりがあるとも聞く」と問題提起がありました。これについての意見交換の中で「何が正規の単価かわからない状況もある中、われわれ専門工事業者がサブコン抜き原価をさらけだしていいものか、三団体で協議

したい」と提案が出されました。これについてダクト工事団体の森靖洋理事長から「首都圏ではゼネコンは全国ダクト工業団体連合会とコミュニケーションを取って情報交換している。関西はそこまで密ではない」との意見が出されました。意見交換の中では「相見積もりでは2倍以上の開きがある場合も

ある。原価に対する感覚のズレを感じる」「時間内上限規制やインボイスを含めて法改正が進む中で事業主が経営に困惑している」という意見が出されました。そこで3団体として、1月末をめどにサブコン側に値段交渉をすることとし、今後も価格高騰に対して各サブコンとの情報・意見交換を積極

的に図っていくことを申し合いました。

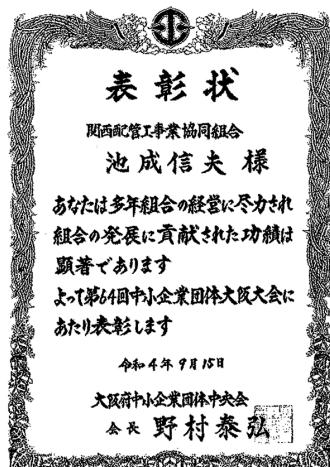
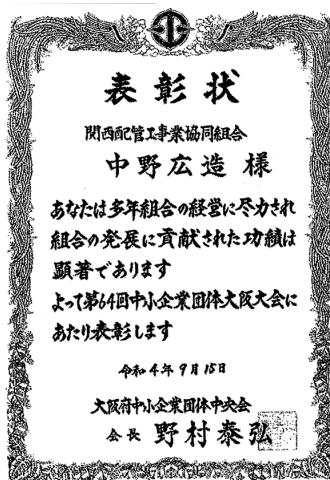
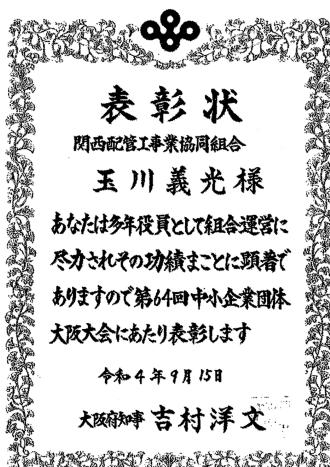
最後にこれから3団体の活動について、これまで春秋に開催していた懇談会を「意義のある話ができる機会として年4回にするべき」との意見で一致し、来年から各団体持ち回りで年4回開催していくこととしました。

組合役員が各方面から表彰

玉川副理事長が大阪府知事表彰

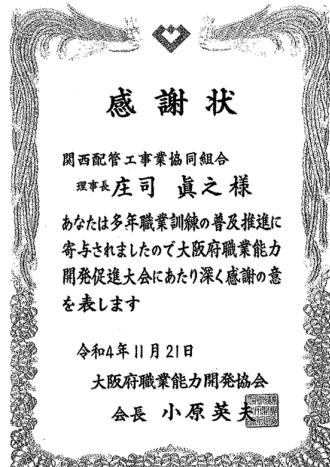
組合の玉川義光副理事長は大阪府知事表彰を受賞しました。

第64回中小企業団体大阪大会が昨年9月15日に大阪市中央区のマイドーム大阪で開催されました。大会で大阪府知事表彰者13名が発表され、組合の玉川副理事長が知事表彰を受賞しました。



業能力開発促進大会で、大阪府職業能力開発協会会长から多年にわたり職業訓練の普及推進に顕著な功績があったとして感謝状を授与されたものです。

当日は、庄司理事長が登壇し、感謝状を代表受領しました。



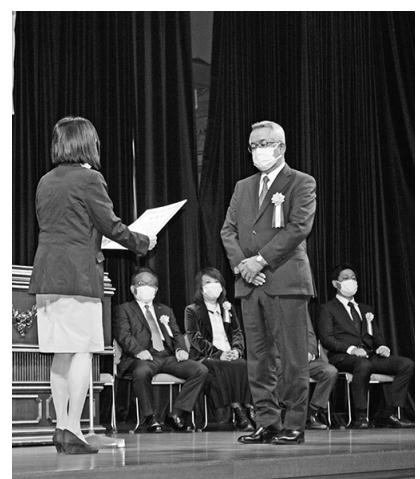
中野・池成両理事は府中央会会長賞受賞

第64回中小企業団体大阪大会で、組合の中野広造理事と池成信夫理事が組合経営功労者として大阪府中小企業団体中央会会長表彰を受賞しました。長年、組合の育成強化に尽力し、その功績が顕著であると認められました。

庄司理事長 職能協会から感謝状

組合の庄司真之理事長は大阪府職業能力開発協会から職業訓練推進功労者として感謝状を贈呈されました。

昨年11月21に大阪市中央公会堂で開催された令和4年度大阪府職



感謝状を代表受領する庄司理事長

理事会 議事要旨

【令和4年9月】――――――

- ①日管連令和4年度第17回定期総会・懇親会・理事会出席報告
7月22日に広島市の「リーガロイヤルホテル広島」で3年ぶりに開催。当組合からは庄司理事長、小阪副理事長（日管連役員）、中野・池成両理事（日管連代議員）の4名と事務局（小倉）が出席
- ②日管連第7回全国青年部会部会長交流会出席報告
- ③日管連令和4年度第11回全国青年部会・見学会・懇親会・関西地区での開催に伴う参加申込者数と開催概要（案）予算（案）の作成報告
- ④令和4年度「登録配管基幹技能者講習」開催案内書送付報告
- ⑤大空衛主催の第37回4団体協議会出席報告
- ⑥大空衛主催の第12回配管技能コンテスト開催結果報告
- ⑦組合員からの組合脱退申し出の件について
- ⑧新規賛助会員の組合加入申し込み諾否について
- ⑨第23回技術研修会開催日程と実施要領作成について
- ⑩令和5年度認定職業訓練配管科1級技能士コース実施計画作成に伴う・訓練時間・講師・受講料の見直し（案）の検討

【令和4年10月】――――――

- ①中野理事・池成理事の両氏、令和4年度大阪府中小企業団体中央会会長表彰受賞報告
- ②玉川副理事長大阪府知事表彰

受賞報告

- ③令和4年度認定職業訓練配管科1級技能士コース修了報告修了者26名の修了時試験結果を大阪府へ提出し、大阪府知事より修了証書を受けた
- ④日管連令和4年度第11回全国青年部会開催地区での開催要領決定報告
- ⑤日管連・JACへの加入事務手続き開始報告
- ⑥令和4年技能検定1級配管受験対策実技講習開催要領作成について
- ⑦第13回組合員・賛助会員合同懇談会開催日程と開催方法の検討
- ⑧第47回三団体懇談会（配管・ダクト・保温保冷）開催日程・開催方法と当番幹事団体（配管）としての提案事項の検討
- ⑨新規組合員の組合加入申し込み諾否について

【令和4年11月】――――――

- ①令和4年度（第11回）日管連全国青年部会（全国会議・あべのハルカス設備見学会・懇親会）関西地区での開催終了報告
参加者数・全国7地区から合計87名
- ②令和5年度認定職業訓練配管科1級技能士コース実施計画作成について
- ③第13回組合員・賛助会員合同懇談会・会費制忘年懇親会開催要領作成について
- ④令和5年新年賀詞交歓会開催要領作成について

【令和4年12月】――――――

- ①庄司理事長、大阪府職業能力開

発協会より感謝状受賞報告

- ②第23回技術研修会終了報告
- ③第47回三団体懇談会出席報告
- ④日管連理事会出席報告
当組合からは、日管連役員3名（庄司理事長、玉川・小阪両副理事長）が出席。JAC加入報告の件については加入条件が各地区の組合員が対象になるので、どこにも加入していない県からJAC加入の問い合わせがあった場合の引き受け分担地区を決定（関西地区は和歌山・徳島・香川・愛媛・高知の5県）
- ⑤第13回組合員・賛助会員合同懇談会・会費制忘年懇親会運営順序の打合せ

【令和5年1月】――――――

- ①大空衛主催の第38回4団体協議会出席報告
- ②第13回組合員・賛助会員合同懇談会・会費制忘年懇親会終了報告
- ③令和4年度第2回近畿地区会場「登録配管基幹技能者講習」終了報告
第2回近畿地区会場は35名が出席
- ④令和4年度技能検定1級配管受験対策実技講習終了報告
- ⑤大阪管工機材商業協同組合主催の第21回管工機材・設備総合展OSAKA2023への後援名義使用と出展申し込みの検討
- ⑥令和5年新年賀詞交歓会の運営順序の打ち合わせ
- ⑦その他=令和5年2月定例理事会の休会について

大阪で技能士検定実施

大阪で建築配管技能士の技能検定実技作業試験が1月28日・29日の2日間、大阪府立東大阪高等職業技術専門校で実施されました。

それに先立ち、学科試験と実技

試験のうちのペーパーテストは1月22日に大阪商業大学で行われました。今回の受検申込者数は1級49名（うち組合受付分30名）、2級36名、3級44名（うち組合受付

分1名）の合計129名でした。合格発表日は3月10日（金）に発表されます。

事業主の皆さん、 労働保険に入って いますか？

労働者を1人でも雇っている事業主は労働保険に加入する義務があります。労働保険とは「労災保険」と「雇用保険」を総称したも

ので、労働者を1人でも雇用されている事業主の方は、労働保険に必ず加入しなければなりません。

お問い合わせ先

◇労災保険制度については

労働基準監督署へ

◇雇用保険制度については

ハローワーク（公共職業安定所）へ

【労働保険事務委託団体・労働保険事務組合】

関西配管工事業協同組合

【労災保険・特別加入団体】

関西配管工事業協同組合・一人親方組合

60年で加入企業110万社以上の実績！

退職金は、国がサポートする **中退共制度** をご活用ください。

国の退職金制度

安心

国から掛金の助成を受けられます

外部積立型だから

簡単

従業員ごとの納付状況や退職金試算額をお知らせします

掛金は全額非課税だから

有利

節税に加え、手数料もかかりません



事業主と生計を一にする同居の親族のみを雇用する事業所の従業員も、一定の要件を満たしていれば加入できます。

詳しくは▶ **中退共** 検索

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

ちゅうたいきょう
略称：中退共

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1
TEL 03-6907-1234 FAX 03-5955-8211